

京都大学生存圏研究所
プロジェクト共同利用研究集会
「赤道域中間圏・熱圏・電離圏結合に関する研究集会」

日時：2006年1月23日(月) 11:00-17:00

場所：京都大学生存圏研究所 1階 遠隔講義室 (HS109)

コンビーナ：小川忠彦 (名古屋大学太陽地球環境研究所)

所内担当教員：山本衛(内線 3814)

11:00 - 11:10

コンビーナーあいさつ

11:10 - 11:30 横山竜宏

赤道大気レーダーによるプラズマバブルの成長速度の研究

11:30 - 11:50 西岡未知

GPSデータを用いたプラズマバブルの経度依存性・地域特性

11:50 - 12:10 小川忠彦

プラズマバブル発生と下層からの大気波動との関係

12:10 - 12:30 丸山隆

SEALIONの現状と初期結果、HWM93との比較

[昼食]

13:30 - 14:00 高橋久夫 (招待講演)

赤道域プラネタリー波(赤道波)の電離層への影響

14:00 - 14:20 塩川和夫

大気光イメージャーによる大気重力波観測を通じた、
赤道域における下層大気・中間圏と熱圏との結合過程について

14:20 - 14:40 Sridharan

Radar observations of wind variabilities over equatorial MLT region

14:40 - 15:10 藤原均 (招待講演)

低緯度熱圏・電離圏変動とグローバル GCM シミュレーション

[休憩]

15:30 - 15:50 中村卓司

Variability of temperature in the MLT region by TIMED/SABER data

15:50 - 16:10 阿保真

赤道中間圏界面領域における sporadic Na/Fe 層のライダー観測

16:10 - 16:30 大塚雄一

30MHz レーダーによる低緯度 E 領域 FAI の観測(初期結果)

16:30 - 17:00

総合討論

コメント： 下舞豊志、津川卓也